特集 拡大基調のバラ

機能性が時代に合致
来年の国際博で注目度向上

芳酸な香りによるリラックス作用や皮脂抑制作用に加え、含有成分による美肌作用や抗酸化作用など多様な機能が確認されているバラ素材。市場は広がりを見せているが、今年5月に開催された国とイランの戦争が影を落とす。一方、来年は横浜市で国際園芸博覧会が開催される。バラへの注目度が増すことも期待でき、さらなる市場拡大も望めそうだ。

ここ数年、売れ行き好調なバラ素材。今回の取材でも、原材料及び最終製品メーカーは軒並み、前年比で売上を伸ばしている。さらなる市場拡大が期待されている中で、今年5月末に米国とイランで始まった戦争が影を落としている。

ペルシャ湾とアラビア海、アラビア海の先のインド洋を挟べ「ホルムズ海峡」が閉鎖されている。加えて、航空機が撃墜される状況も騒騒。このため、数年前の不祥事によるローズオイルやウォーターの値上げのような事は無いとうたいたいが、日本のみならず海外を含めた物価高騰、円安の影響などによりブルガリア産ダマスクローズオイルやウォーターの値上がりしている。このためモノが不足しているから、容易にブルガリア産に切り替える訳にもいかなかった。因みに昨年にかけて関心が高まりそうなイベントがある。それは、

国内サプライヤーによると話す企業も存在する。

と、4月末時点でブルガリアのダマスクローズの育成状況は順調。このため、数年前の不祥事によるローズオイルやウォーターの値上げのような事は無いとうたいたいが、日本のみなら海外を含めた物価高騰、円安の影響などによりブルガリア産ダマスクローズオイルやウォーターの値上がりしている。このためモノが不足しているから、容易にブルガリア産に切り替える訳にもいかなかった。因みに昨年にかけて関心が高まりそうなイベントがある。それは、

来年3月から横浜市で開催される「国際園芸博覧会」。国内では1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」以来、37年ぶりに開催される。大阪の同会には当時、国際博覧会史上最高の来場者数になる31,256,933名が来場した。このため、来年開催地の横浜市の花が「バラ」であるため、バラに着目したイベント等が行われる可能性が高い。もともとバラは人気のある花だけに、博覧会に追い風を受ければ、バラ素材も一気に需要が広がりそうだ。

そのバラ素材では、食品や化粧品として使用できるローズオイルやウォーターは、ローズ抽出物を原料とする。例えば、ローズ抽出物を原料に用いた例ロベルテの「Damasty」、山川貿易㈱のバラ由来酵母エキス「フィトカタライザーローズ」、天然ブルーローズを原料とする「オーラムブルー」、バラ種子由来化粧品素材「プリンセピアオイル」などが挙げ。バラ由来のイメージの良さに加え、機能性データを有する素材が多く、エビデンスを待たれる。

企業動向

ロベルテ
強力な抗酸化作用に評価
ダマスティ

㈱ロベルテ（東京都中央区）は、トルコ産ダマスクローズ抽出物に、メロン果汁濃縮物「SOD B（同社登録商標）」と、アセロラエキスを加えた機能性素材「Damasty（ダマスティ、同社登録商標）」を供給している。上市して約1年の新素材だが、クライアントからは強力な抗酸化作用を備えた素材と高い評価を受けている。

既に10社以上から引き合いを受けており、サプリメントも手掛ける化粧品メーカーから特に強い関心を持たれている。バラエキスは化粧品美白及び抗酸化成分として利用されていることから、メーカー担当者もバラに対する知識や造詣が深く、サプリメントに使用できるダマスティは注目の的になっている。

世界的な天然素材メーカーでもあるロベルテを象徴する製品がバラの精油であり、年間1,000㎏のバラの花弁を水蒸気蒸留し、精油を製造している。この蒸留過程で花弁の成分が廃水に溶け込んでいるが、これをアップサイクルしポリフェノールを抽出したものが、ダマスティの主成分であるローズ抽出物になる。

蒸留所だけしか入手できない「唯一無二」の素材である。このローズ抽出物に、活性酸素消去に強力な抗酸化作用を発揮するメロン由来のSOD Bと、アセロラ由来のビタミンCを組み合わせることで、ダマスティは幅広い抗酸化作用が期待できるオリジナルな素材になっている。

様々な特長を持つダマスティに関心を持つメーカーは、採用に向けたステップとして早くもトド試験を開始している。その試験では、日本人を対象に有効性が検証されているが、これまでに行われた外国人を対象にした試験では、美肌に関連する機能が複数確認されている。

40名の女性を対象にしたプラセボ対照無作為二重盲検試験では、ダマスティを2カ月間、1日300㎎の摂取すると、プラセボ群と比較して摂取1カ月後から皮膚の抗酸化活性が有意に上昇した。また、42名の女性に1日300㎎のダマスティを3カ月間摂取させた試験では、プラセボ群に比べ、皮膚内の過酸化水素量が有意に減少し、皮膚の抗酸化防御力が高まったと確認された。

このほか、肌の光沢や肌トーンの均質性が改善するとともに、色素沈着を軽減することも確かめられている。

メイリリィ
横浜を起点に啓発活動
ブルガリア産ダマスクローズ

㈱メイリリィ（横浜市都筑区）は、有機JAS認証や地理的表示保護（PGI）認証を受けた、ブルガリア産ダマスクローズオイルやウォーターを原材料供給する傍ら、自社製製品でも販売しており好調な売れ行きを示している。要因は「ブルガリアンローズフェスティバル元町2026」を後援するとともに協賛し元・横浜を起点に様々な活動を行っている。

同社の山口文江社長は、一般社団法人ブルガリアンローズ文化協会の理事を兼任している。同協会及び メイリリィとして、5月10日から元町で開催された「ブルガリアンローズフェスティバル元町2026」に参加した。

このフェスティバルは、横浜市の花が「バラ」であることに加え、ブルガリアンローズを通じて感謝の気持ちを示す、ブルガリアの文化を継承する目的で行われているもの。今年から横浜市公認のフェスティバルになり、同市がとり組み後援になっている。

この縁が来年は横浜市瀬谷区で、「国際園芸博覧会」が3月から9月にかけて開催される。世界的なイベントがわれ期間中に来年3月から横浜市で開催される「国際園芸博覧会」。国内では1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」以来、37年ぶりに開催される。大阪の同会には当時、国際博覧会史上最高の来場者数になる31,256,933名が来場した。このため、来年開催地の横浜市の花が「バラ」であるため、バラに着目したイベント等が行われる可能性が高い。もともとバラは人気のある花だけに、博覧会に追い風を受ければ、バラ素材も一気に需要が広がりそうだ。

そのバラ素材では、食品や化粧品として使用できるローズオイルやウォーターは、ローズ抽出物を原料とする。例えば、ローズ抽出物を原料に用いた例ロベルテの「Damasty」、山川貿易㈱のバラ由来酵母エキス「フィトカタライザーローズ」、天然ブルーローズを原料とする「オーラムブルー」、バラ種子由来化粧品素材「プリンセピアオイル」などが挙げ。バラ由来のイメージの良さに加え、機能性データを有する素材が多く、エビデンスを待たれる。

山川貿易
ローズ酵母海外へ
フィトカタライザーローズ

半世紀以上にわたり欧州系化粧品原材料を展開する山川貿易㈱（東京都千代田区）は、化粧品原材料「フィトカタライザーローズ」の海外市場向け提案を進めている。国際ツールで、夏以降には在庫を持って販売できる体制を整えて、バラ由来という分かりやすい素材ストーリーに加え、皮膚バリア機能や毛髪関係のデータを備える点を訴求する。

現在は、インブルーク中で、夏以降には在庫を持って販売できる体制を整えて、バラ由来という分かりやすい素材ストーリーに加え、皮膚バリア機能や毛髪関係のデータを備える点を訴求する。

同原材料は、同社が30年近く販売する「チトカタライザー」に用いられている独自技術「チトリゼーション法」を踏襲して開発した。

原材料調達のリスク分散や、国産原材料を求める化粧品メーカーの要望に対応する独自原材料の一つとして位置付ける。

国内では、昨年より販売をスタートしており、素材イメージの良さからも厳選に厳選がっている。海外市場でも同様に「ローズ由来」という素材イメージに加え、独自製法＝機能性データを組み合わせて提案できる。

来年に向けて、山下社長は書籍を刊行する。ブルガリアンローズの歴史・文化・使い方をはじめブルガリアの国立科学アカデミーや国内企業・大学と協力し、ブルガリアンローズへの関心の高まりが期待される。

バイオリンク
口コミで販売店増加
ローズ水配合の自社製品

イラン産ダマスクローズオイルやウォーターを取り扱う㈱バイオリンク（東京都目黒区）は、余裕を持った在庫管理により、当面の供給不安を解消している。

ローズウォーターを配合した自社製品は口コミで話題になっており、この一年間で販売数が40倍増加したという。

同社が取り扱う「ローズオイルやウォーター」は、イラン南部の標高1400～1600m前後の岩山に自生する「ダマスクローズ」から抽出したもの。厳しい自然環境に育つため生命力が強く、その証拠として抽出されるローズオイルは深い琥珀色をしている。

また、水蒸気蒸留で蒸留する際は、ローズウォーターに天然水を十分に含ませている。これにより抽出されるローズウォーターについては、有効成分の含有量が47%と高濃度になっている。ローズオイルとウォーターともに、イランの経済産業省からオーガニック認証を受けている。

自社製品はシャンプーをはじめ、ローション、エッセンス、クレンジングなどを揃えている。この中で最も売れているのはローションで、美容師の2名が売れを都えるとして美容室を中心に売れている。今後はローズウォーターを配合したUVカットクリームを発売予定にしている。

ビー・エル・エイチ
美肌やリラックスに作用
ローズエデン

㈱エル・ビー・エイチ（東京都中央区）は、バラ（東京都中央区）は、バラ（東京都中央区）を主に化粧品の自然発酵素材として提案する。発酵物から低温蒸留法で抽出したものがローズエデンになる。

肌に着目すると、肌に存在する保護受容体「OR2AT4」の活性化を通じて、表皮角化細胞のケラチノサイトの活動を活発化し皮膚の修復を促進する。また、肌常在菌はローズエデンを摂食してフェノキシエタノールを産生する。そのビスチジンが肌から浸透し、肌表面で酸化されるとヒスタミンが分泌され、メラトニンが分泌されやすい環境に整えられる。これらのメカニズムにより、ローズエデンは、肌と腸に作用する。

たタンクにバラを詰め入れ、その微生物を用いて花びら由来の発酵精油（ローズエデン）を主に化粧品の自然発酵素材として提案する。シワや肌弾力の改善、美白作用を備えるほか、リラックス作用を持ち、肌と腸に働きかける。

同社が注目しているバラ品種「センチフォリア」は、フランスのベルサイユ宮殿にたくさんのバラがあり、その中でもバラは「自然に近い状態で育成し、土壌を豊かにする」「レディナさま農法」で栽培することで、バラには豊富な微生物が付着している。これらの微生物が、ローズエデンの原料になっている。

Ethical Ingredient Prinsepia Oil ～エシカルな化粧品原料 プリンセピアオイル～

ヒマラヤ高地の限られた場所にしか生息しない、希少な一重のバラ科の花、プリンセピア。
そこから抽出されたオイルは、アルガン、ココナッツに次ぐ第3のオイルとして注目を集めています。

▲プリンセピア エビデンス

各種エシカル・オーガニック認証取得実績

USDA ORGANIC　for life　PRINSEPIA OIL ORGANIC

ISO16128に基づく各種自然指数100%
＜ナチュラル化粧品の新基準！＞
◉自然指数100%　◉自然由来指数100%
◉オーガニック指数100%　◉オーガニック由来指数100%

☑オーガニック　☑エシカル
☑人権・労働環境　☑地域発展
☑生物多様性　☑ISO
☑自然環境保護

資料のご請求はこちら ▶

ECOM ECOlogy and Management
株式会社 環境経営ホールディングス　〒神奈川県横浜市港北区篠原台町36-28　TEL:045-435-3364　https://www.eco-m.co.jp/

環境経営ホールディングス

国際認証で価値訴求

プリンセピアオイル

㈱環境経営ホールディングス（横浜市港北区）は、ヒマラヤ原産のバラ科サクラ属植物の種子由来化粧品原材料「プリンセピアオイル」について、国際認証を軸に価値訴求を強化している。

既にEU基準の「EUオーガニック認証」、米国基準の「USDAオーガニック認証」に加え、ISO全項目指数（自然及びオーガニックに係る）は最高値100を示す。さらに、社会的責任に関する国際認証「For Life認証」を取得。今後は、野生植物の持続可能な採取を示す「Fair Wild認証」への対応も視野に、自然派化粧品向け原材料としての提案力を高める。

同社は、原材料の品質や自然由来等に加え、採取地の環境保全や生産者支援を重視している。「For Life認証」は、人権、労働環境、地域発展、生物多様性、自然環境保全などに配慮した生産モデルを示す認証。同原材料は、単なるオーガニック素材ではなく、社会性や環境配慮まで含めたエシカル原材料として訴求できる点を強みとする。

プリンセピアオイルは、ヒマラヤの山岳地域に自生するバラ科植物の種子から得られる希少油。同社によると、採取地では1本当たりの採取量制限や輪番制を導入することで、特定地域や個体への過度な負荷を避けている。

加えて、女性主体の採取コミュニティが収穫から一次加工までを担い、安定収入の確保と地域経済への還元にもつなげる。

同原材料は、オメガ3・6・9をバランス良く含む脂肪酸組成を特徴とし、ビタミンE（γトコフェロール）含有量はオリーブオイルの約35倍とされる。なめらかな使用感と浸透性を生かし、スキンケアを中心にエステサロンなど高付加価値領域で採用が進む。

流通量は現在、年間数トン規模にとどまる一方、原材料としては30～35トン規模の供給ポテンシャルを有する。

品質管理と採取条件を維持するため供給量をコントロールし、希少性と安定供給の両立を図る。

同社では、自然由来、希少性、持続可能な採取、現地生産者への還元を一体で示す原材料として提案を広げる構えだ。

銀座・トマト

対前年度の売上伸長

バラプラセンタエキス

㈱銀座・トマト（東京都中央区）は、バラ素材として「バラプラセンタエキス」をはじめ、バラ花弁から抽出した幹細胞エキス「バラカルスエキスバウダーNF」、ローズウォーター、ローズオイルを取り扱っている。このうちバラプラセンタエキスは売れ行き好調で、2025年度（3月決算）の売上は前年度比で伸長している。

好調の要因は、海外で大口の顧客が増えたこと。特にマレーシアで富裕層の顧客が増加した。現在20カ国以上に同素材を供給しており、その中では東南アジアの国々が占める割合が高い。同素材に確認されているフリーラジカル消去作用やEGF増加作用、ターンオーバー促進作用などの美容への働きが着目されていると同社はみている。

同社バラ素材の原料は、ブルガリアの「バラの谷」で収穫されたダマスクローズ。ローズウォーターやオイルは伝統的な水蒸気蒸留法で抽出されており、オーガニック認証を受けている。

また、昨年発売したバラプラセンタエキスを配合した美容液は、海外向けのSNSでライブ配信されて、好調な売れ行きを示している。

バイオシード

鮮度の高さが特長の一つ

イラン産ダマスクローズ水

㈱バイオシード（東京都台東区）は、イラン産のダマスクローズから抽出したローズウォーターを原材料供給しているほか、自社最終製品で販売している。

ローズウォーターのクラ

国産植物
に使用した
発及び製造
業㈱花びら
区）は、バ
「乾燥バラ
などを供給
利用用途は
バラのイメ
に着目した

イアントは、化粧品や食品メーカー。原料のダマスクローズは、イラン・カシャーン地方の山間部で自然に生育している花蕾を、朝陽が昇る前に収穫し、抽出工場に輸送している。工場ではその日のうちに、水蒸気蒸留法でオイルとウォーターを抽出し、ウォーターは水の代わりに製品に使用されるなど、贅沢に使われている。

同社は、ペルシャの伝統医学・ユナニの基本理念である「バランス」を基に、製品を開発している。このためローズオイルやウォーターなど、素材の組み合わせによる効果を最大限追究している。現在は、従来品のローションをアップグレードした新たなローションを開発中で、今年中に発売予定としている。

ピアニシモ

全国150店導入目

ロゼ・スチーム

女性の健康維持を目的に事業展開する㈱ピアニシモ（広島市佐伯区）は、ローズウォーターを使用したよもぎ蒸し「ロゼ・スチーム」を展開している。メインターゲットに更年期や妊活中の女性を据えて、全国のエステティックサロンや妊活サロンなど全国150店舗への導入を目指す。

ロゼ・スチ
同社は、湿
香りやロー
供できるこ
蒸しの上位
なると各種
ている。ロ
には、フラ
ユ宮殿に隣
増されてい
スのグラー

イラン発祥のダマスクローズウォーターを取り扱う㈱ナチュレモフィード（東京都大田区）は、「美容液シャンプー」や「ナチュラルダマスクローズソープ」「ベビーシャンプー」などの自社最終製品を好調に売り上げている。

これら製品の特長は、原料のダマスクローズウォーターや製品の製造工程、品質管理などが厳密に審査され、2014年、15年にハラル認証を取得していること。これにより、安全性が高い製品と同社は強く訴えている。

品質の高さも特長の一つで、以前は伊勢丹新宿店の美と健康の売り場「イセタンビューティーアポセカリー」で販売されていた実績がある。

現在は美容室やヘアサロンなどの店頭販売に加え、インターネットによる通信販売で、札幌、仙台、東京、京都などの全国の消費者に向けて販売されている。製品のリピート率は高く、顧客の大半はリピーター。しかし、新規注文も受けており、口コミによる需要の広がりがあると同社は推察している。インスタグラムやフェイスブックなどのSNSで商品をアピールしていることで、健康意識の高い消費者の購入もあると見込んでいる。

原料のダマスクローズは、イラン・カシャーン郊外の過酷な自然環境に自生している。農薬も使用していないため、生命力に溢れ、香りや有用成分が濃密。そのローズから伝統的な水蒸気蒸留法で、ローズ

ナチュレモフィード

自社製品の売れ行き好調

イラン産ダマスクローズ